

第 54 回 全国建設業労働災害防止大会に参加

平成 29 年度 (一社)三重県建設業協会 実施事業

開催日時 : 29 年 10 月 5 日 (木) ~ 6 日 (金)

開催場所 : 北海道立総合体育センター

北海きたえーる メインアリーナ

参加者 : 121 名 (三重県建設業協会会員企業から)

主催 : 建設業労働災害防止協会

建設業労働災害防止協会 北海道支部

事業内容 :

建設産業の安全衛生水準の向上を図るため、毎年、二日間にわたり全国の建設業の安全衛生担当者が一堂に会する「全国建設業労働災害防止大会」が本年も開催されました。

平成 29 年度は第 54 回全国大会として札幌市の「北海道立総合体育センター メインアリーナ」をメイン会場として開催されました。

初日 (5 日) の総合集会では来賓のあいさつの後、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者の表彰が行われました。続いて、安全の誓いを採択し、記念講演が行われました。

二日目 (6 日) の専門部会は、会員企業などが取り組み、成果をあげた最新の安全衛生管理活動などが五部門に別れて開催され有意義な大会となりました。

また、会場内では安全衛生保護具・測定機器・安全標識等の展示も行われ、ひごろカタログでしか目にできない商品がメーカー担当者の説明を聞きながら、実際に手に取って確認でき、良い機会が提供されました。

大会スローガン

トップの決意と現場の実行 ルールを守って無災害



安全の誓い

私たちは、人命尊重の基本理念の下、建設産業で働く者一人ひとりの安全確保を第一にたゆまぬ努力を続けてまいりました。

その結果、平成28年の建設業における労働災害は、死亡災害、休業4日以上
の災害とも過去最少となりました。

今後、建設産業は、社会資本整備に係る工事量の増加が見込まれる一方、技能労働者の不足や高齢化、将来の担い手の確保・育成などの問題がありますが、今年度が最終となる「第7次建設業労働災害防止5カ年計画」の趣旨を踏まえ、さらなる安全衛生管理活動の充実を図り、労働災害を根絶する必要があります。

このため、経営トップの強いリーダーシップの下、リスクアセスメントをはじめとする、あらゆる安全衛生活動を計画的かつ継続的に進め、現場で働く一人ひとりが、安全を最優先する「安全文化」を定着させることが重要となります。

本日の全国大会を契機として、安全衛生意識の一層の向上と建設作業に携わる人々が労働災害に遭うことがないように

- 一 「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン等災害」、「倒壊・崩壊災害」の三大災害防止対策等の徹底
- 一 リスクアセスメントの確実な実施とコスモスの積極的な導入
- 一 能力向上教育等安全衛生教育の充実及びメンタルヘルス対策の推進

を重点に、全員が一丸となって労働災害防止活動に取り組み、長時間労働の抑制と健康の保持増進を図ることにより、安全で働きやすい魅力ある職場環境を実現することを誓います。

平成29年10月5日

第54回全国建設業労働災害防止大会